

際立つ共産党の論戦

“財界応援、米国いいなりの自民党” 産党の対決が際立ちました。この中で自対“根本転換を迫る共産党” — 開会中 公政権の補完勢力としての維新の姿も鮮明の通常国会での質疑を通じて自民党と共 明になっています。

“やさしく強い”経済に

自民 財界応援の古い政治

実質賃金はピークだった1997 少なくてきた結果です。年から2020年までに64万円 少なくてきた結果です。その根本転換 — 人を大事にその根本転換 — 人を大事にするやさしい経済の方が強い経済になる(別項)と迫ったのが志位和夫委員長。財界応援の古い政治を改めない限り、経済の明るい展望は開けてきません。



共産党の提案

- ①政治の責任で「賃金上がる国」に
- ②社会保障を削減から拡充に転換
- ③富裕層・大企業に応分の負担を求め、消費税を5%に減税
- ④気候危機打開に本気で取り組む
- ⑤ジェンダー平等の視点を貫く

共産党の提案

徹底した対話を積み重ねるASEAN(東南アジア諸国連合)の取り組みに学んで、ASEAN10カ国プラス日米中など8カ国で構成される東アジアサミットという平和の枠組みを活用・発展させ、東アジアを平和と協力の地域にしていく。

憲法9条生かす平和外交

自民 「敵基地攻撃」 全面戦争の危険

外交・安全保障でも米中対立のもと「米国いいなり」で大軍拡や憲法9条改定を進めているのが自民党です。岸田首相が提起する「敵基地攻撃能力」の保有もその一つ。相手国の領域に乗り込んでミサイル基地や地下施設をしらみつぶしに破壊する先制攻撃。全面戦争への危険な道です。憲法9条の下では絶対に許されません。共産党が提起した憲法9条を生かした平和外交(別項)でこそ、明るい未来が見えてきます。

国政問題 各党の違い鮮明

	日本共産党	岸田自公政権	日本維新の会
憲法	「9条改憲許すな」の草の根からの大運動を起こす	任期中に改憲を実現したい。既に自衛隊明記や緊急事態条項などを示す	夏の参院選に併せて国民投票の実施を。憲法審査会を毎週開け
経済政策	新自由主義と決別し、“やさしく強い経済”へ大改革。財界応援政治を根本転換	アベノミクスの成果のうえに、成長と分配の好循環を生み出す	アベノミクスの「第3の矢」、成長戦略、構造改革を今こそ。労働市場の規制緩和を
外交・安保	憲法9条を生かした平和と協力の地域に	日米同盟のさらなる強化。敵基地攻撃能力保有を現実的に検討していく	台湾有事は日米同盟の有事。敵基地攻撃能力の保有は不可欠

維新

自民の悪政を後押し 右へ引っ張る「けん引勢力」

「だからダメなんだ、自民党は。野党から憲法改正反対だと言われたら、ひるむ(足立康史衆院議員) — 自民党よりさらに右翼的な主張を唱え、“右へ右へ”と引っ張る「けん引勢力」が維新です。「台湾有事は“いつ起きるか”の次元だ。日米同盟の有事に直結する」(馬場伸幸共同代表)とあおり、「敵基地攻撃能力」の保有は「不可欠」と断言。

国民民主も同調

国民民主党も「敵基地攻撃能力の保有の検討は必要だ」(1月20日、玉木雄一郎代表)と表明。改憲でも「自民党の緊急事態条項(の案)は非常事態として感染症が想定されていない。議論すべき」(同)と迫るなど、自民党や維新に同調する動きを示しています。